



純ちゃんの元気便り



H29年3月号
第24号 吉田薬品
TEL 0735-31-7039

先月末、温泉日本一の有馬温泉に初めて行ってきました。
伝統生薬研究会の宿泊研修セミナーで、鉄分の多い赤く濁ったお湯（金泉）と透明なお湯（銀泉）にゆっくり浸かり、いやされました。
いつも自律神経が緊張状態にあると、うつや病気にもかかりやすく、癒しやホッとする時間は必要ですね～



平成29年度の運気は『木運不及』で、木星が例年より地球から遠ざかり、その波動が弱くなる年。肝臓の働きが弱まりやすい年。

肝臓の働きが衰えると、必要な部位に十分な血液が届かない。脳の血液不足はうつのような症状や、不安や過度の神経過敏を。手足の痙攣や、疲れ目、生理不順なども。

血の汚れは、疲労や、皮膚トラブルの原因にも。

肝臓の働きを助けるのは牛黄(霊黄参)です。霊黄参 2Pで 1,000円



肝臓が弱らないように、肝を助けるのは腎です。

腎が弱ると肝も弱ります。補腎して、しっかり血を造り、肝臓でしっかり血を蓄えて全身に巡らせましょう。

補腎には、鹿茸や鹿角をつかいます。(霊鹿参)

腎精＝生命力エネルギーが多いと元気です。年齢と共に腎精は減少します。不摂生により、腎精は早く消耗されます。平均寿命は男性80歳、女性86歳。しかし健康寿命は男性70歳、女性73歳。10年間は寝たきりの期間です。誰しも寝たきり10年も過ごしたくないですね。

そう考えられる方は、**早めの補腎により体の機能低下や老化を予防しましょう。(アンチエイジング)**

2,000年の昔から王様や高貴な方に好んで飲まれる鹿茸と人参。しかし動物生薬は漢方薬に比べて、高価です。**たかが1P、されど1Pです。毎日少量でも補ってあげると、生命力を高め、命の火を燃やしつつげます。霊鹿参1シート 6Pで1,300円**

腎精が減少すると、生殖器・内分泌系の機能低下(精力の衰え、不妊)、免疫力の低下(アトピー、花粉症、)耳鳴り、腰痛、尿、冷え、歯・骨の減少、もの忘れの症状がおこってきます。

鹿茸を補うことで、疲労回復、造血機能・消化機能・創傷再生・発育促進、強心に働きます。

先月、私も電車で転倒して、前に傷めた靭帯をまた痛めて整形⇒接骨院に通っています。靭帯は2～6ヶ月、神経は6ヶ月修復するのにかかります。霊鹿参を朝2、夜2と血流を良くする物を飲んでいきます。先生いわく、治りが速いと！知人にも80歳で骨折時に飲ませたら早く骨がキレイにひつつき治りが速い。鹿茸は、出血斑の出る方、シワの多い方にも好評です。(抗老化)

美容では、プルプルの色白美肌につばめの巣&コラーゲンゼリー 30包 5,400円も美味と好評です。